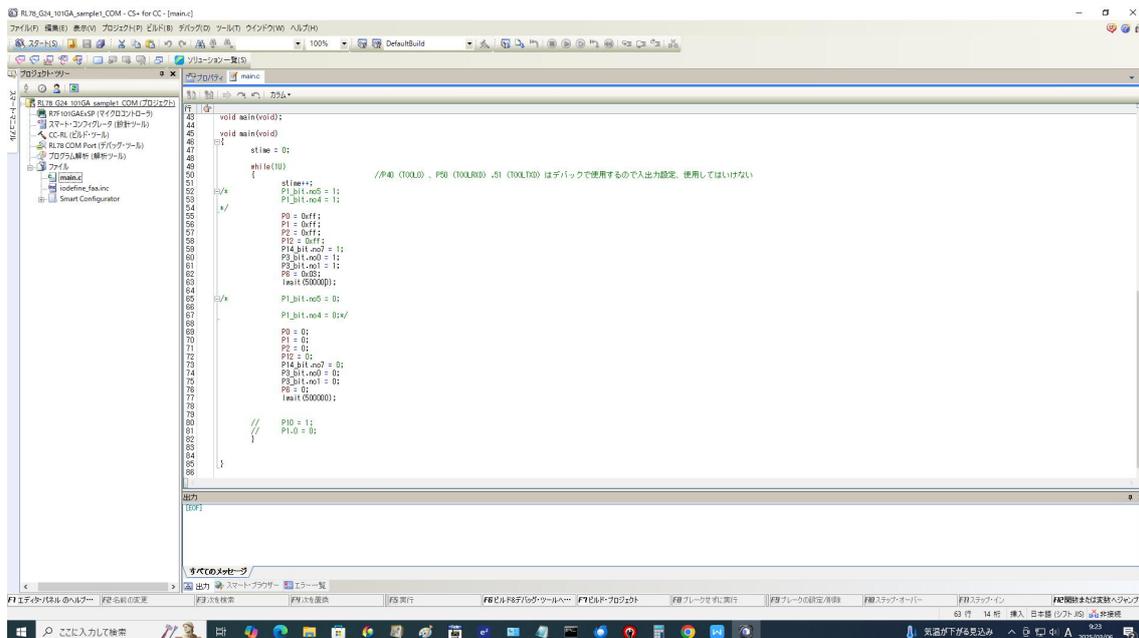


## CS+ for CC 環境で動作する RL78\_G24\_101GA ボード用サンプルプログラムの使い方 2025. 03. 05

あらかじめパソコン (PC) と RL78\_G24\_101GA ボードをケーブルで接続しておいてください。  
ケーブルは USB A⇄C タイプです。

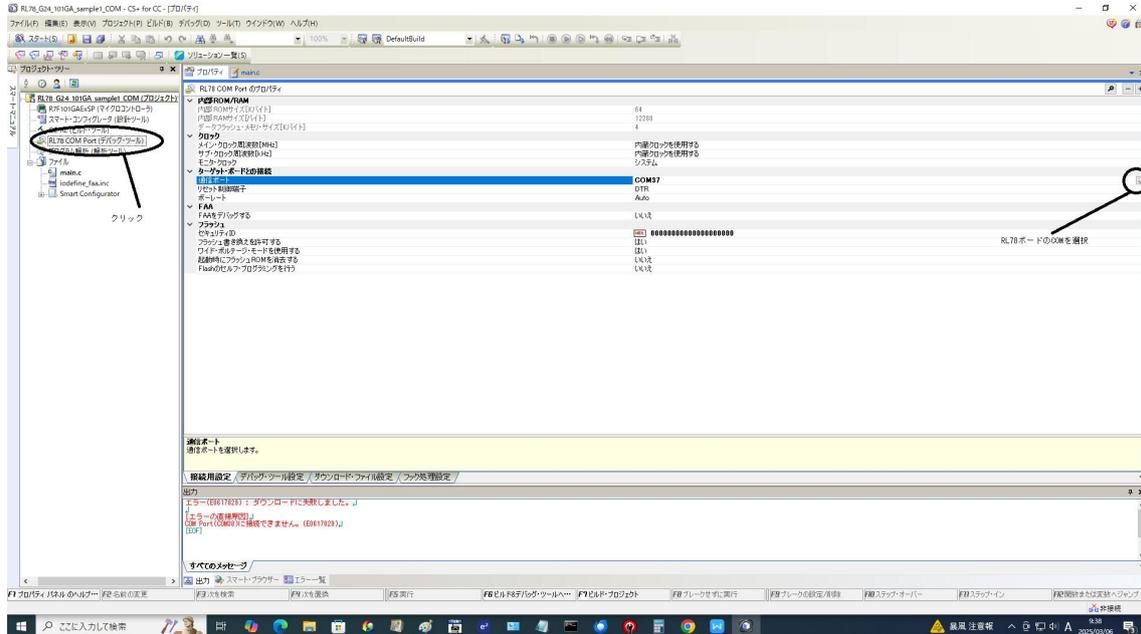
CS+ for CC を立ち上げ、ダウンロード、解凍した RL78\_G24\_101GA\_sample1\_COM.mtpj をクリック。下記のように表示されたら OK です。



プログラムはコンパイル済みなので、ダウンロードをクリック



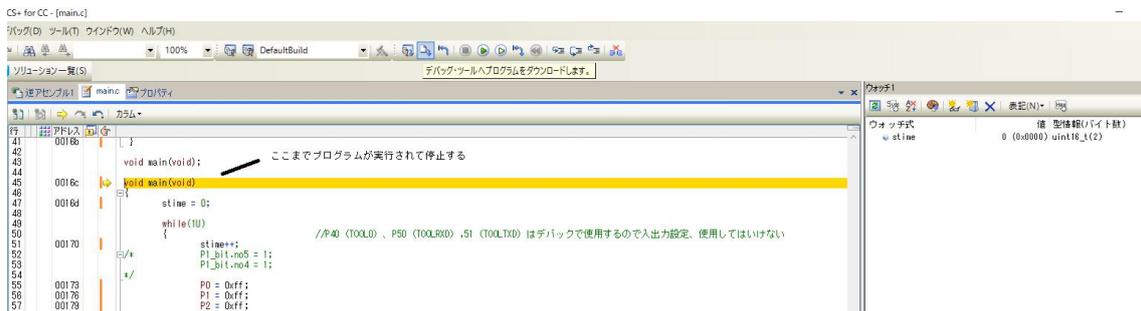
通常エラーが出ます。理由はプログラムが作られた環境とお客様の PC 環境で COM 番号が違うからです。そこで、RL78 COM Port (デバック・ツール) をクリック→デバックの構成から COM ポート番号を合わせます。通信ポートをお客様の PC で設定された COM ポートに合わせます。例では COM38 から COM37 に変更。



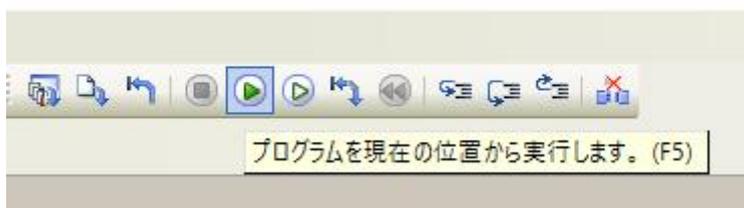
再び、ダウンロード。



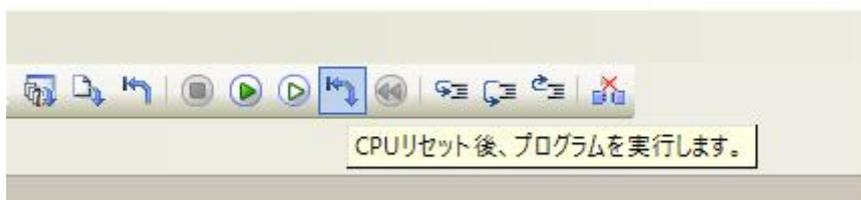
成功すると、mainまで黄色いカーソルが動作して停止、ウォッチ窓に変数 s t i m e が表示されます。表示差荒れない場合、s t i m e をウォッチ窓にコピーしてください。



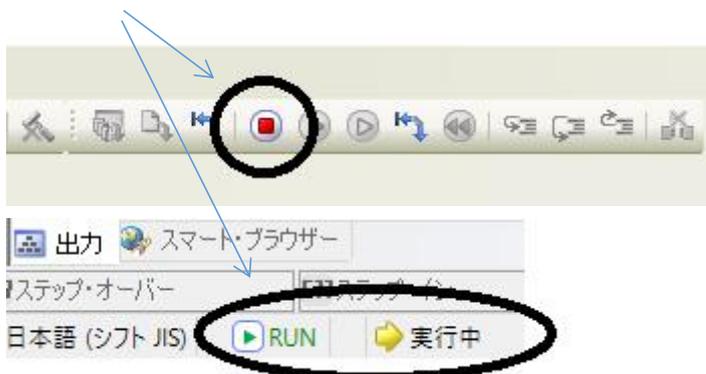
現在の位置から、実行をクリック。



リセットをかけて実行したい場合、下記。



実行中マークが「表示され、P30に接続されたLED D1が点滅すれば動作しています。



ウォッチ窓の変数 `stime` が 15 くらいずつ上がっていくのが分かると思います。

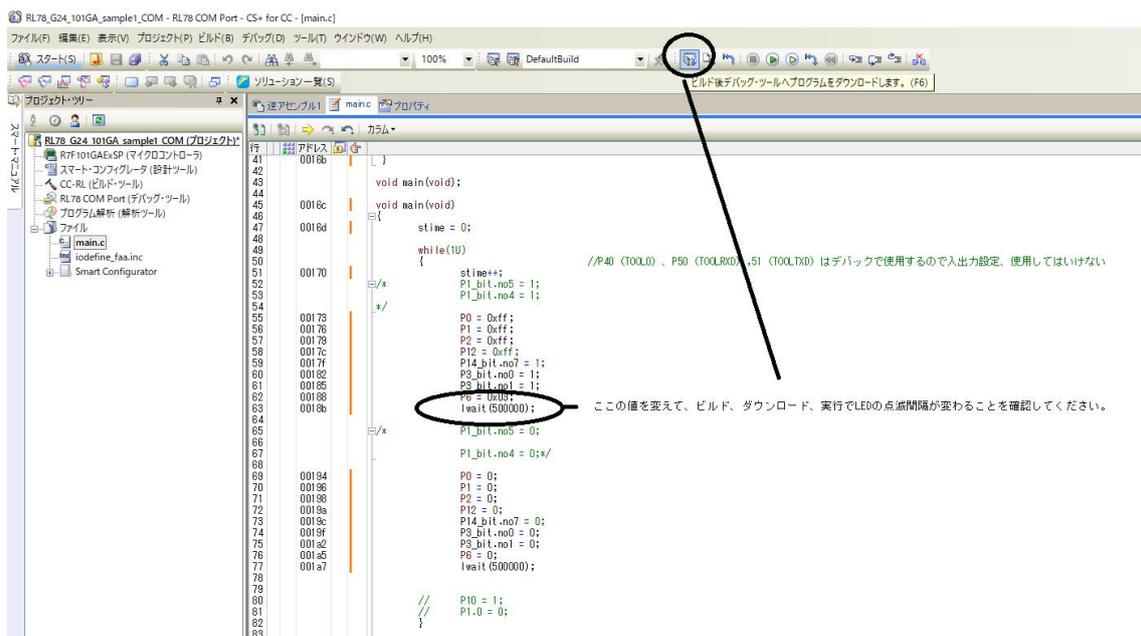


なぜ15? 今のところ (20250306)、CS+ for CC COMPortデバックでは表示更新間隔下限が5秒なのです(´;ω;`)



ですので、気になる方は、E2Liteを使うとか、e2studioを使うとかしてください。

プログラムを変更し、実行中であれば動作停止、ビルド、ダウンロード、実行すればLEDの点滅周期が変わるのが確認できます。



有限会社ビーリバーエレクトロニクス  
[info@beriver.co.jp](mailto:info@beriver.co.jp)